

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	地域のつながり推進課長 奈須 菊夫
市民-03 地域コミュニティ推進事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 地域のつながり推進課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治
	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市民等
意図	地域住民が主体となり、行政と協働で地域課題を考え、解決できるようにするため。
効果	地域のことは地域で考えて決定していくことにより、地域のコミュニティが充実し、市民自治の確立が図られる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

地域の課題は地域で考え、解決する仕組みとして、地域の住民や団体が構成する「地域会議」の運営を支援するとともに、新たな設立に向けての検討を行った。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
	人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
	事業の対象者数	177,464人	177,243人	事業の対象者数	176,869人	
運営資源状況	決算値(千円)	201	162	当初予算(千円)	1,150	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	201	162	一般財源	1,150	
	人員配置数	2.9	2.5	人員配置数	2.5	
事業経費運営	人件費(千円)	21,369	19,137	人件費(千円)	19,071	
	総事業費(千円)	21,570	19,299	総事業費(千円)	20,221	
	市民1人当りの経費(円)	122	109	市民1人当りの経費(円)	114	
	対象者1人当りの経費(円)	122	109	対象者1人当りの経費(円)	114	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー 大船地域づくり会議
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す → ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他 見直しの内容 大船地域づくり会議においては、コーディネーターの導入、研修の実施など、会議の活性化に向けた取組が必要である。 又、新たな地域会議については、地域の範囲の設定など、方向性の検討が必要である。
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 既存の地域づくり会議に対しては、自立した運営に向けた支援を行っており、負担金の予算規模は縮小するが、新たな地域会議の設立に向けては、財政的支援を必要とするため、小事業全体としての予算規模は現状維持となる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	大船地域づくり会議については、地域の課題を、自ら抽出し、自ら考え、自ら解決する仕組みとしての地域会議の意義について、地域住民等の意識の共有が不十分であったことから、今後は共通認識のもとに運営していくことが課題となっている。 新たな地域会議の設立に関しては、大船地域づくり会議の実績等を踏まえ、当面、長寿社会のまちづくりの取組(政策創造課)の研究結果を引き継ぎ、機運の高まった地域での設立に向けた支援について検討を進める。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	大船地域づくり会議では、会員間に認識の温度差があり、活発な議論が行われず、課題解決に向けた十分な議論ができていない。新たな地域会議の設立支援についての検討を進める。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	大船地域づくり会議を3回開催し、部会を運営部会に一本化し、大船地域の共通の課題として防災に力点を置き、「避難所運営マニュアル(素案)」をまとめた。	☐ 解決	☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	大船地域づくり会議では、一定の成果が出たが、さらなる課題解決に向けた十分な議論ができていない。引き続き新たな地域会議の設立支援についての検討を進めていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	地域会議の設立・支援団体数					単位	団体	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
地域会議の設立と継続した運営支援を行っていくため。	目標値	1	2	2	2	2		2		
	実績値	1	1							
	達成率	100.0%	50.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---